

対象校No.

注4

学校コード 137110110310

注3

設置年度 令和 6 年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**意見伺い**

注2

香川大学大学院 創発科学研究科 創発科学専攻 (博士後期課程)

**【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正後大学設置基準適用)

国立大学法人香川大学

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

林町地区統合事務センター  
学務課

職名・氏名

カクム カチヨウ サ ヤスオカ カズアキ  
学務課課長補佐・安岡 和照

電話番号

087-864-2015(内線:2114)

(夜間)

087-864-2015(内線:2114)

e-mail

yasuoka.kazuaki@kagawa-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合:「〇〇大学」  
・学部の設置の場合:「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合:「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合:「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合:「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

香川大学大学院創発科学研究科

＜創発科学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教育研究実施組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人香川大学

## (2) 大学名

香川大学

## (3) 調査対象大学等の位置

- 〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 (幸町北キャンパス)
- 〒760-8523 香川県高松市幸町2-1 (幸町南キャンパス)
- 〒761-0396 香川県高松市林町2217-20 (林町キャンパス)
- 〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393 (三木町農学部キャンパス)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を ( ) 書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ウエダ ナツオ) 上田 夏生 (令和5年10月)		
理事	(ノザキ タケシ) 野崎 武司 (令和5年10月)	(アラキ ノブカズ) 荒木 伸一 (令和6年11月)	退職に伴う令和6年11月1日交代 (7)
研究科長	(スエナガ ヨシヒロ) 末永 慶寛 (令和5年10月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( ) 書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。(入試区区分とはありません)。  
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それぞれのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。  
 ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)です。設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。  
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留學」の在留資格(いわゆる「留學ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
創発科学研究科 創発科学専攻	教育学・保育学関係 法学関係 経済学関係 工学関係	3年	22人	2年次 —人 3年次 —人 4年次 —人	66人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	22人 ( ) [ ]	若干人 22 [ ]	22人 ( ) [ ]	若干人 22 [ ]	春季入学以外の学期区分を設ける予定	0.9倍	—								
志願者数	( ) [ ]	24 [ ]	0 [ ]	22 [ ]	若干人 22 [ ]	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳										
受験者数	( ) [ ]	24 [ ]	0 [ ]	22 [ ]	若干人 22 [ ]	入学定員春季(4月)入学・・・22人										
合格者数	( ) [ ]	23 [ ]	0 [ ]	20 [ ]	若干人 18 [ ]	秋期(10月)入学・・・若干人										
B 入学者数	( ) [ ]	22 [ ]	0 [ ]	18 [ ]	若干人 18 [ ]	※令和6年度から実施										
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	0.81	—				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。  
 ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・転入学生は記入しないでください。  
 ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。  
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)  
 ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度版)IV.33収容定員の充足状況」を確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。  
 ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備考
	春季入学	その他の学期											
1年次	( ) [ ]	22 [ ]	0 [ ]	18 [ ]	0 [ ]	令和6年度秋期(10月)入学・・・志願者なし 令和7年度秋期(10月)入学・・・実施予定							
2年次	—	—	( ) [ ]	22 [ ]	0 [ ]								
3年次	—	—	—	—	( ) [ ]								
4年次	—	—	—	—	( ) [ ]								
計	( ) [ ]	22 [ ]	0 [ ]	40 [ ]	0 [ ]								

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・[ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・編入学生や転入学生も合わせて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。  
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。  
 ・「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	22 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
令和7年度	40 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

< 創発科学研究科 創発科学専攻(博士後期課程) >

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の 基 幹 教 員 ( 助 手 外 を 除 く)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	ELSI&グローバルマインド	1	1			7	1					
	小計(1科目)	-	1			7	1					
専門科目	特別研究Ⅲ	1	4			73	34	8	6			
	特別研究Ⅳ	2・3	6			73	34	8	6			
	小計(2科目)	-	10			73	34	8	6			
	合計(3科目)	-	11			73	34	8	6			
卒業要件及び履修方法												
ELSI&グローバルマインド(共通科目(必修)、1単位)、特別研究Ⅲ(専門科目(必修)4単位)、特別研究Ⅳ(専門科目(必修)6単位)の計3科目(11単位)を修得するとともに、必要な研究指導を受け、博士論文の審査(最終試験)に合格することを修了要件とする。												

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の 基 幹 教 員 ( 助 手 外 を 除 く)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	ELSI&グローバルマインド	1	1			7	1					
	小計(1科目)	-	1			7	1					
専門科目	ジョブ型研究インターンシップ	1・2・3						2	1			
	特別研究Ⅲ	1	4			80	33	6	2			
	特別研究Ⅳ	2・3	6			80	34	6	2			
	小計(3科目)	-	10			2	80	34	6	2		
合計(4科目)	-	11			2	80	34	6	2			
卒業要件及び履修方法												
ELSI&グローバルマインド(共通科目(必修)、1単位)、特別研究Ⅲ(専門科目(必修)4単位)、特別研究Ⅳ(専門科目(必修)6単位)の計3科目(11単位)を修得するとともに、必要な研究指導を受け、博士論文の審査(最終試験)に合格することを修了要件とする。												

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置				の基幹教員以外を 除く(助手)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通科目	ELSI&グローバルマインド	1	1			7	1				
	小計(1科目)	-	1			7	1				
専門科目	特別研究Ⅲ	1	4			79	34	6	4		
	特別研究Ⅳ	2・3	6			79	35	6	4		
	小計(2科目)	-	10			79	35	6	4		
合計(3科目)		-	11			79	35	6	4		
卒業要件及び履修方法											
<p>ELSI&amp;グローバルマインド(共通科目(必修)、1単位)、特別研究Ⅲ(専門科目(必修)4単位)、特別研究Ⅳ(専門科目(必修)6単位)の計3科目(11単位)を修得するとともに、必要な研究指導を受け、博士論文の審査(最終試験)に合格することを修了要件とする。</p>											

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
  - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。  
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。  
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。  
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和6年度】**

特になし。

**【令和7年度】**

令和7年度から「ジョブ型研究インターンシップ」を開設した。

- (注)・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	0 科目	0 科目	3 科目	3 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	1 科目 [ 1 ]	4 科目 [ 1 ]	設置時の計画：必修3科目 計3科目 変更状況：必修3科目、自由1科目、 計4科目

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	敷地面積見直しに伴う 増減及び、上之町団地 解約に伴う減。三木町 医学部団地DRI先端医 学研究棟周りに駐車場新 築に伴う増減。(7)		
	校 舎 敷 地	241078㎡ 241156㎡	0㎡	0㎡	241078㎡ 241156㎡			
	そ の 他	708379㎡ 710185㎡	0㎡	0㎡	708379㎡ 710185㎡			
	合 計	949457㎡ 951341㎡	0㎡	0㎡	949457㎡ 951341㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	三木町農学部団地農産製造実 習室改修に伴う増、及び三木 町医学部のDRI先端医学研究 棟新築に伴う面積修正等に伴 う減。(7)		
		170532㎡ 172625㎡ (171450㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	170532㎡ 172625㎡ (171450㎡)			
(3) 講義室等・新設研究科等 の専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の 専任教員研究室	専任教員の新規採用に 伴う増。(7)		
		94室	634室	90室	126室 121室			
(4) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	保有図書等受入・除籍 のため。(7)
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕			
	創発科学研究科 創発科学専攻 (博士後期課 程)	854,528 [258,950] 853,831 [259,189] (854,528 [258,950] 853,831 -[259,189]-)	14,417 [2,635] (14,417 [2,635])	22,947 [6,513] 22,930 [6,505] (22,947 [6,513] 22,930 [6,505]-)	2,870 [2,815] 2,735 [2,681] (2,870 [2,815] 2,735 [2,681]-)	0 (0)	1,320 (1320)	
	計	854,528 [258,950] 853,831 [259,189] (854,528 [258,950] 853,831 -[259,189]-)	14,417 [2,635] (14,417 [2,635])	22,947 [6,513] 22,930 [6,505] (22,947 [6,513] 22,930 [6,505]-)	2,870 [2,815] 2,735 [2,681] (2,870 [2,815] 2,735 [2,681]-)	0 (0)	1,320 (1320)	
(5) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
  - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		香川大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度			
教育学部	4	160	3年次 若干	640	学士 (教育学)	1.10	1.07	-	平成15	-		
学校教育教員養成課程	4	160	3年次 若干	640	学士 (教育学)	1.10	1.07	-	平成15	香川県高松市幸町1番1号		
法学部	4	160	3年次 10	660	学士 (法学)	1.05	1.02	-	平成15	-		
(昼夜開講制)												
法学科(昼)	4	150	3年次 10	620	学士 (法学)	1.08	1.05	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号		
(夜)	4	10	-	40	学士 (法学)	0.70	-	-	平成15	同上		
経済学部	4	250	3年次 20	1040	学士 (経済学)	1.06	1.02	-	平成30	-		
(昼夜開講制)												
経済学科(昼)	4	240	3年次 20	1000	学士 (経済学)	1.07	1.03	-	平成30	香川県高松市幸町2番1号		
(夜)	4	10	-	40	学士 (経済学)	0.77	-	-	平成30	同上		
医学部	6	106	2年次 5	676	学士 (医学)	1.02	0.99	令和6	平成15	-	令和2、4~7年度収容定員増による 学年進行	
	4	80		320	学士 (看護学)	1.06	1.05	-	平成15 平成30	香川県木田郡三木町大字 池戸1750番地1		
医学科	6	106	2年次 5	676	学士 (医学)	1.02	0.99	令和6	平成15			
看護学科	4	60	3年次 若干	240	学士 (看護学)	1.06	1.05	-	平成15			同上
臨床心理学科	4	20	-	80	学士 (臨床心理学)	1.06	1.06	-	平成30			同上
創造工学部	4	330	3年次 20	1360	学士 (工学)	1.06	1.02	-	平成30		-	
創造工学科	4	330	3年次 20	1360	学士 (工学)	1.06	1.02	-	平成30	香川県高松市林町2217番 地20		
農学部	4	150	3年次 若干	600	学士 (農学)	1.06	1.03	-	平成18	-		
応用生物科学科	4	150	3年次 若干	600	学士 (農学)	1.06	1.03	-	平成18	香川県木田郡三木町大字 池戸2393番地		
大学全体(学部)	4	1130	3年次 50 若干	4620	-	1.06	1.03	-	-	-		
	6	106	2年次 5	676	-	1.02	0.99	-	-	-		

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」としては、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

















専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		＜就任年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	柴田 悠基 ＜令和6年4月＞ 芸術工学士
専	講師	釜床美也子 ＜令和6年4月＞ 博士
専	講師	福森 聡 ＜令和6年4月＞ 博士
専	講師	鈴木 達也 ＜令和6年4月＞ 博士
専	講師	堤 成可 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	小野 貴史 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	李 セロン ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	山本 高広 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	小宅 由似 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	武田 健太郎 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	平野 満大 ＜令和6年4月＞ 博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		＜就任年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	柴田 悠基 ＜令和6年4月＞ 芸術工学士
専	講師	釜床美也子 ＜令和6年4月＞ 博士
専	准教授	福森 聡 ＜令和6年4月＞ 博士
専	講師	鈴木 達也 ＜令和6年4月＞ 博士
専	講師	堤 成可 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	小野 貴史 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	李 セロン ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	山本 高広 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	小宅 由似 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	武田 健太郎 ＜令和6年4月＞ 博士
専	准教授	小水内 俊介 ＜令和6年4月＞ 博士
専	准教授	大宮 祐也 ＜令和6年4月＞ 博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		＜就任年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	柴田 悠基 ＜令和6年4月＞ 芸術工学士
専	准教授	釜床美也子 ＜令和6年4月＞ 博士
専	准教授	福森 聡 ＜令和6年4月＞ 博士
専	准教授	鈴木 達也 ＜令和6年4月＞ 博士
専	講師	堤 成可 ＜令和6年4月＞ 博士
専	講師	小野 貴史 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	李 セロン ＜令和6年4月＞ 博士
専	講師	山本 高広 ＜令和6年4月＞ 博士
専	講師	小宅 由似 ＜令和6年4月＞ 博士
専	助教	武田 健太郎 ＜令和6年4月＞ 博士
専	准教授	小水内 俊介 ＜令和6年4月＞ 博士
専	准教授	大宮 祐也 ＜令和6年4月＞ 博士
専	准教授	橋本 健二 ＜令和6年9月＞ 博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		＜就任年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		＜就任年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任年月> 保有学位等			<就任年月> 保有学位等			<就任年月> 保有学位等			<就任年月> 保有学位等			<就任年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			専	准教授	橋本 正樹 <令和6年9月> 博士 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ									
			専	准教授	原 光生 <令和6年9月> 博士 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ									
			専	准教授	平山 恭介 <令和7年3月> 博士 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ									
			専	准教授	松井 智也 <令和6年9月> 博士 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ									
			専	准教授	小川祐紀雄 <令和6年9月> 博士 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ									
			専	講師	土谷 圭央 <令和6年9月> 博士 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ									

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号に準じて作成してください。
  - ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全てを黒字で記入してください。
- ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラムの授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラムの授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・令和6年4月小水内准教授就任（専任教員追加）。令和6年2月教員審査済み。
- ・令和6年4月大宮准教授就任（専任教員追加）。令和6年2月教員審査済み。
- ・令和6年4月篠原准教授が教授に職位変更。令和6年2月教員審査済み。
- ・令和6年4月岡崎准教授が教授に職位変更。令和6年2月教員審査済み。
- ・令和6年4月寺尾（京）准教授が教授に職位変更。令和6年2月教員審査済み。
- ・令和6年4月宮本准教授が教授に職位変更。令和6年2月教員審査済み。
- ・令和6年4月舘隈准教授が教授に職位変更。令和6年2月教員審査済み。
- ・令和6年4月武藤准教授が教授に職位変更。令和6年2月教員審査済み。
- ・令和6年4月吉澤准教授が教授に職位変更。令和6年2月教員審査済み。
- ・令和6年4月福森講師が准教授に職位変更。令和6年2月教員審査済み。
- ・舟橋教員（教授）が就任辞退。後任補充未定。
- ・平野教員（助教）が就任辞退。後任補充未定。

【令和7年度】

- ・令和6年6月後藤田准教授が教授に職位変更。令和6年5月教員審査済み。
- ・令和6年6月亀井講師が准教授に職位変更。令和6年5月教員審査済み。
- ・令和6年9月松井（哲）准教授就任（専任教員追加）。令和6年8月教員審査済み。
- ・令和6年9月小川准教授就任（専任教員追加）。令和6年8月教員審査済み。
- ・令和6年9月橋本（健）准教授就任（専任教員追加）。令和6年8月教員審査済み。
- ・令和6年9月橋本（正）准教授就任（専任教員追加）。令和6年8月教員審査済み。
- ・令和6年9月原（光）准教授就任（専任教員追加）。令和6年8月教員審査済み。
- ・令和6年9月土谷講師就任（専任教員追加）。令和6年8月教員審査済み。
- ・令和7年3月小野助教が講師に職位変更。令和7年2月教員審査済み。
- ・令和7年3月平山准教授就任（専任教員追加）。令和7年2月教員審査済み。
- ・令和7年4月大久保准教授が教授に職位変更。令和7年2月教員審査済み。
- ・令和7年4月喜田准教授が教授に職位変更。令和7年2月教員審査済み。
- ・令和7年4月高木准教授が教授に職位変更。令和7年2月教員審査済み。
- ・令和7年4月釜床講師が准教授に職位変更。令和7年2月教員審査済み。
- ・令和7年4月鈴木（達）講師が准教授に職員変更。令和7年2月教員審査済み。
- ・令和7年4月小宅助教が講師に職位変更。令和7年2月教員審査済み。
- ・令和7年4月山本（高）助教が講師に職位変更。令和7年2月教員審査済み。
- ・令和7年4月石原准教授の担当科目追加（ジョブ型研究インターンシップ）。令和6年8月教員審査済み。
- ・令和7年3月板谷教授が定年退職。後任補充未定。
- ・令和7年3月三木教授が自己都合退職。後任補充未定。

(注) 変更内容を簡条書まで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査を受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
8	6	4
名	名	名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
73	34	8	6	121	0	81	35	8	2	126	0
(79)	(30)	(7)	(5)	(121)	(0)						
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
121	73	0	0			119	79	7	0		
(114)	(77)	(7)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
81	35	8	2	126	0	81	35	8	2	126	0
[ 8 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ4 ]	[ 5 ]	[ 0 ]	[ 8 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ4 ]	[ 5 ]	[ 0 ]
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
119	79	5	0			119	79	5	0		
[ Δ2 ]	[ 6 ]	[ 5 ]	[ 0 ]			[ Δ2 ]	[ 6 ]	[ 5 ]	[ 0 ]		

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{126}{121} = \boxed{104.13} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{126} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) -① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	舟橋 正浩	R6.3	必修	特別研究Ⅲ	①	R6.3本学を退職のため就任辞退（6）			
				必修	特別研究Ⅳ	①				
2	助教	平野 満大	R6.3	必修	特別研究Ⅲ	①	R6.3本学を退職のため就任辞退（6）			
				必修	特別研究Ⅳ	①				
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(3) -② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	三木 信彦	R7.3	必修	特別研究Ⅲ	①	R7.3本学を退職のため辞任（7）			
				必修	特別研究Ⅳ	①				
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)										
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)						
3	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{121} = 2.47\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹(専任)教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹(専任)教員数の合計数を記載してください。

・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹(専任)教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹(専任)教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	板谷 和彦	必修	特別研究Ⅲ	①	R7.3.31付け65歳で定年退職(7)							
			必修	特別研究Ⅳ	①								
合計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)				
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての基幹(専任)教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼任教員)が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹(専任)教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該教員を指導教員として志望していた学生に対しては退職が確定した時点で説明を行い、専攻する分野が重複もしくは近接する教員を指導教員とした。いずれも早期に個別の説明を行ったため混乱等は見られなかった。

(注) ・ 上記(3)の基幹(専任)教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和5年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

< 創発科学研究科創発科学専攻（博士後期課程） >

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 教育課程            共通科目 ELSI&amp;グローバルマインド（必修1単位）            専門科目 特別研究Ⅲ（必修4単位）                      特別研究Ⅳ（必修6単位）</p> <p>② 入学者選抜及び入学時期            4月入学を実施する。</p>	<p>① 教育課程            共通科目 ELSI&amp;グローバルマインド（必修1単位）            専門科目 特別研究Ⅲ（必修4単位）                      特別研究Ⅳ（必修6単位）                      「ジョブ型研究インターシップ」（選択2単位）            博士課程学生の企業等での研究活動の契機を増すために「ジョブ型研究インターシップ」を追加しR7年度に開講する。</p> <p>② 入学者選抜            4月入学に加えて10月入学（及び選抜試験）を実施する。            ※2024年度10月から実施する。</p>

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況            香川大学大学院創発科学研究科創発科学専攻教務委員会            香川大学大学院創発科学研究科創発科学専攻入学試験委員会            香川大学大学院創発科学研究科創発科学専攻自己評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）            教務委員会及び入学試験委員会は月に1度の頻度で開催            自己評価委員会は、必要があれば開催</p> <p>c 委員会の審議事項等            教務委員会            教育課程についての基準及びそれに基づく教育の方針の立案及びその実施に関する事、学生生活に関する事            入学試験委員会            入学試験に関する方針や事項の立案及び実施に関する事            オープンキャンパスに関する事</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容            ア. 研究指導について            イ. 創発科学研究科の教育課程について</p> <p>b 実施方法            ア、いずれもteamsによる遠隔会議と対面の併用            遠隔会議方式で行った内容を録画し、各系領域（教員）に配布し常時閲覧可とした。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）            ア、イは、令和6年2月に実施した。工学系領域のFDの一環としたが、録画データを配布し常時公開とした。            （リアルタイムでの参加は60名程度。視聴を加えると120人程度）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況            内容に基づき、教育課程のあり方、授業の構成の認識、研究指導の方法や仕組みについての議論を各系領域で行い疑問点について、さらに、教務委員会で検討し、改善を反映する循環を形成した。</p>
---

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各授業の終了後に適宜実施する予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

公開については教務委員会で議論する。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科が定める目的に到達するためにいくつかの段階を区切って把握を行う。1つめは、本研究科の理念を具体にした共通科目の状態である。これについては、授業評価や聴き取りを通じて、達成状況把握の手段とする。さらに、1、2年次末に行う、学位論文の進捗状況の報告である。専門分野についての研究の亢進や、社会実装の観点、他分野への関心や知見を如何に学生を示すかを報告内容を通じて把握することができると思う。これらの諸段階を重視し、達成状況の把握に務める。

また、本課程を含めた教育活動の質の保証の方策として「香川大学における教育活動の内部質保証の方針」(R4)を定め、「教育課程及び関連する教育設備」、「施設」、「学生支援及び関連する教育設備」、「学生受入れ」の項目で、自己点検・評価を毎年実施しており、その枠組の中で、達成状況の把握を行う。

② 自己点検・評価報告書

次回機関別認証評価受審時に自己評価書、評価結果報告書を作成予定(R11年に機関別認証評価受審の予定)

a 公表(予定)時期

未定(R11年度の機関別認証評価時には自己評価書をR11.6、評価結果報告書はR12.3に公表する見通し)

b 公表方法

大学HPIにより公表する。

③ 認証評価を受ける計画

R11年度に大学機関別認証評価の受審を計画している。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和7年度)

a 公表予定の有無 [ 有 ]

≪aで「有」の場合≫

b 公表(予定)時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ]

≪aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。